

大空襲の夜

堺区旭ヶ丘南町

本多 昭(84歳)

私が幼時を過ごした家は大小路橋の西袂、柳並木も美しい大小路筋に建つ、古い一階建ての民家でした。話によれば江戸時代からあつた「泉屋」という旅籠屋だったそうで、入口に大きな土間があったのはその名残でした。当時この辺りは堺の東入口でした。

昭和20年7月20日夜、和歌山市を襲つたB29爆撃機隊は、一旦引き上げたため堺は空襲警報解除となりました。「よかつたなあ、来なかつたわ」といつて裏庭に掘つた防空壕から出てきた私たち(といつても叔母と自分だけ)は蚊帳の中に敷かれた寝床に入りました。

まどろむ間もない、午前1時30分を過ぎた頃、大阪湾に入ったB29爆撃機隊は堺南西部から、焼夷弾による総攻撃を開始したのです。B29機の爆音とシャーという異様な爆弾の落下音で、私は飛び起きました。「アカン、奥の間の仏壇に爆弾が落ちた。早よう消さんと。あんたは先に逃げなさい」と言つて叔母はまた家に入つてきました。

辺りには炎に追われて、多くの人が東に避難していました。みんな着の身着のまま、荷物を持つている人は殆どいませんでした。道の両側の何軒かは、すでに炎を噴き上げていました。

焼けていない方へ、安全な方へと、皆必死に逃げました。人間だけではありません。手綱の無い裸馬も走つてきました。「気をつけ

「とも」の昨年9月号に掲載した戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた手記を順次掲載しています。

ろ。馬だ、馬だ」と叫びながら人馬一体(?)となつて逃げました。南海高野線を越えて、方違神社の近くまで来ました。赤ちゃんを背負つた婦人が前を急いでいました。あるうとか、その婦人の背中へ不発弾が落下しました。よろめいた婦人は、赤ん坊を下ろして膝に抱えました。婦人は悲鳴を上げました。赤ん坊は即死でした。

「方違神社も危ないぜ」と叫ぶ人がいて皆誘われるようにして、さらに東へ逃げました。阪和線を越えて今池の堤防まで来ていました。西を見ると堺の旧市街は炎に包まれていました。低空飛行で爆弾を落としているB29機が影絵のように見えました。みんな果然として、「焼けていく堺」を見続けていました。

翌朝、硝煙が立ち上り、まだ爆発音がする旧市街に戻りました。そこは、家も人も焼き尽くした黒焦げの世界でした。戦争の恐ろしさをさまざまと見せられました。自宅の焼け跡で叔母と再会しました。叔母も東へ逃げたのですが、途中で知り合いのタバコ屋一家とすれ違いました。西に向かった一家は公共貯水池の中で全員死亡しました。あの時、声をかけられていたら、叔母の運命はどうなっていたら、叔母の運命はどうなつていたか。叔母はその後96歳まで生きました。

寄稿 私の戦争体験

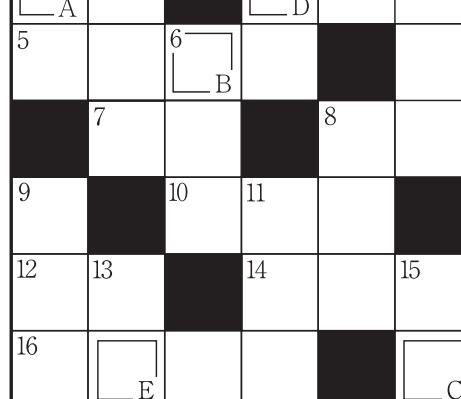
<8>

大空襲の下で、多くの犠牲者が出了ました。熱さに耐えきれず、土居川に飛び込んだ人を、漏れた油が水面を火となつて襲いました。

この夜、1800人余りの尊い命が失われ、70000人の市民が家を失つたのです。

- タテのキー
 ①太らぬよう、お○○は
 ②珍しい出来事
 ③職物の略。○○鍋
 ④敵を欺くための——の
 ⑤顔には深い○○があつた。
 ⑥私立学校の略
 ⑦○○負けにこだわらぬ
 ⑧王者のくらい。——継
 ⑨手に——をつける
 ⑩——がつかず欠席した
 ⑪——がつかず欠席した
 ⑫アブ○○取らず
 ⑬アブ○○取らず
 ⑭口ぶり

- ヨコのキー
 ①○○負けにこだわらぬ
 ②暗中——
 ③寝るための部屋
 ④1万の1方倍は1○○
 ⑤1万の1方倍は1○○
 ⑥台風の○○
 ⑦○○自贊
 ⑧1万の1方倍は1○○
 ⑨1万の1方倍は1○○
 ⑩——に顔をゆがめる
 ⑪——に顔をゆがめる
 ⑫開幕用の平たい田形の
 ⑬口ぶり
 ⑭口ぶり



ツ	ド	イ	コ	ブ
イ	キ	コ	ウ	シ
キ	ジ	ヨ	ブ	ツ
ユ	ウ	ツ	ブ	ン
コ	ウ	ト	ウ	ン
エ	ド		シ	ン
				シ

●3月号の答
「ドウブツエン(動物園)」
●応募数／109通



お楽しみクイズ

クロスワードパズル

●応募方法／郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入のうえ、*あて先／〒590-0824 堺市堺区老松町2丁58-1
●当選発表／厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード500円分)を。賞品の発送をもって発表に替えていただきます。
●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただくことがあります。ご了承ください。

会員紹介

24

浜寺支部
豊田 えいいち
英一さん

2年前に定年退職し、その後から浜寺支部の世話をされています。今は週1回の映画班会を担当され、多彩な映画の上映会をされています。また堺の歴史の勉強もされ、古代史・考古学の講座に近隣の博物館に出かけているそうです。

編集後記
今国会で「共謀罪」の審議が大きな問題となっています。テロ対策と銘打つて出された「共謀罪」は犯行を行わなくとも計画・同意しただけで犯罪とするもので、日本の刑法の原則から外れた法案です。捜査機関に拡大解釈されると正當な市民の運動も監視され

卒業後は耳原に就職し堺へ、以来40年浜寺に住んでいます。友の会結成当初から知っています。98年の前倒産の時には、大阪民医連事務局へ出向し、共同組織を担当されました。

3年後に福島医療生協(大阪市)に転籍されました。

新潟県に生まれ、子ども頃は活発な方ではないものの普通の子どもだったそうです。大学時代に映画好きになり、今は年100本以上の映画を観て、そのリストには採点や評価が書き込まれています。

「毎日が夏休み」とおしゃり、「計画し、実行し、感動し、総括し、記録する」というやりたいことがたくさんある、充実した日々だそうです。自治会やマンションの管理組合の役員もされており、地域の活動も行っているそうです。

これらの友の会に望むことは、世話人さんの高齢化が進んでいるので新しい世代交代です。

豊田さんは、うまくいかない時もネガティブにとらえず活動しているそうです。「夏休み」を楽しむ姿勢が印象的でした。

(写真・文 事務局)

る恐れがあります。内心の処罰という、国民を監視するかのような内容に多くの反対の声が上がっています。

国民の自由と権利を委縮させ、支配しやすい世の中に対するような法案には反対です。友の会でも「共謀罪」反対の署名に取り組んでいます。是非ご協力ください。(事務局 藤原)